



聖路加

# チャペル ニュース

2020年9月27日 No. 259



〒104-0044

東京都中央区明石町10-1  
聖路加国際大学礼拝堂

TEL 5550-2416

TEL 5550-7043

FAX 5550-7070

E-mail: chapel@luke.ac.jp

URL: [http://nssk.org/  
tokyo/church/luke](http://nssk.org/tokyo/church/luke)



左：シボリウム（信徒用パン（ウエファース）を入れる聖器）  
右：ブレッドボックス（聖別前のパンを入れるための聖具）

## 聖書に学ぶ会

10月からリモート（Zoom）で行うことを検討しています。

これまでと同じスケジュールです。

第1・第3木曜日 午前10時 新約聖書（ケビン司祭）

第2・第4火曜日 午後5時30分 旧約聖書（関司祭）

ご関心のある方は、チャペルにお問い合わせください。

## 巻頭メッセージ

# 熟慮して語るなら

## 礼拝案内

### 月・火・木・金曜日

■午前8時30分 朝の礼拝 トイスラーホール

### 水曜日

■午前8時30分 聖餐式 トイスラーホール

※第2水曜、第3火曜、第3水曜の礼拝は午前8時45分～

### 日曜日

新型コロナウイルス感染症のため、礼拝時間を変更します

■午前7時 聖餐式 トイスラーホール

■午前9時 聖餐式・説教 臨時チャペル

■午前11時 聖餐式・説教 臨時チャペル

## 巻頭メッセージ

## 熟慮して語るなら

司祭 シモン・ペテロ 上田憲明

預言者エレミヤの言葉の中に、最近気になる言葉があります。それは、エレミヤ書十五章十九節に「主はこう言われた。……『もし、あなたが軽率に言葉を吐かず、熟慮して語るなら、わたしはあなたを、わたしの口とする。』」

神さまからこう語るようにという使命を与えられる預言者に、神さまは、ただ単に言うべき言葉を機械的に繰り返すことを求めておられません。メモにして渡しても変わらないような伝令役として預言者に使命を与えるようなことを神さまはされないと、預言者エレミヤは私たちに伝えていきます。熟慮することは、簡単に口にし、言葉にできないようなことも含んでいるメッセージを語るように促しているような気がします。

病院の臨床倫理の問題もそうですが、人と人との価値観の相違や考え方の相違で問題が複雑になる時に、どうすれば、全ての人が納得できるような正解に辿り着けるか分からなくなる時が多いです。実際には、それをゆつくりそれこそ熟慮する時間はなく、現実に対応していくことが求められます。だからこそ、余計

に時々問題を振り返り熟慮する必要があるのでしよう。それをしてもし正解には辿り着けることはほとんどないにしても、自分とは違った意見聞き、他の人にも協力してもらって違った視点から再び眺めて見る時に、より立体的に物事が見えてくるようになるのです。そういう事を繰り返して行なう中で、熟慮して語り、行動する態度が生み出されていくのではないかと思います。

聖路加国際大学が、聖路加国際病院が、そしてそこにある礼拝堂に集う人たちが、神さまの愛や祝福を伝える器として用いられるためにも、「軽率に言葉を吐かず、熟慮して語る」ことが求められているのでしよう。神さまが根気強くエレミヤの様々な経験や苦悩を通してエレミヤの内側に、語るべき言葉を紡ぎ、時には、叱責、悔悟、苦痛の叫び、時には、慰め、励まし、恵みの言葉を伝えたように、私たちの中にも私たちが生きる中で出会う様々な経験を神さまの前で熟慮して行動する時に、神さまの業に参加させていただけののではないかと思います。